

スポーツを通じて交流の輪

～平成21年度登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業～

7月25日(土)と26日(日)の2日間、登別市で『平成21年度登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業』（登別・白石姉妹都市交流推進協議会主催）が行われました。

この事業は、宮城県白石市との姉妹都市提携をきっかけに、昭和62年度から会場を交互に毎年開催されているもので、今年は、両市の小学生が軟式野球を通じて交流を深めました。

25日は、歓迎交流会が行われ、その後白石市の子どもたちは、野球の試合を行う登別市の子どもたちの家にホームステイをし親ぼくを深めました。

26日は、若草公園グラウンドで登別市選抜対白石市選抜の2試合が行われ、好プレーを披露するなど日ごろの練習の成果を発揮。試合終了後はお互いの健闘をたたえ合い、来年の再会を誓ってお別れをしました。

その後、白石市の子どもたちは登別温泉の入浴体験や、テーマパーク見学をし、帰路に就きました。



幌別鉄南地区の新しいお祭り

～ゆめみーるフェスティバル～



8月1日(土)、地域食堂ゆめみーるで『第1回ゆめみーるフェスティバル』（NPO法人ゆめみーる主催）が行われました。

このイベントは、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に集まれる場所として昨年11月にオープンした『地域食堂ゆめみーる』で、さらにみんなが楽しめるイベントとして企画されました。

食堂内では健康教室や民謡などが行われたほか、屋外では、焼き鳥などの出店コーナーや、野菜やくだもの、新鮮な魚などを販売する朝市コーナー、スイカ割りなどの子どもゲームコーナーが設けられ、夏の新たな地域のお祭りとして、家族連れや子どもたちでにぎわっていました。

主催者のNPO法人ゆめみーる会長の對馬敬子さんは、「これからもどんどんみんなが参加できるイベントを企画していきたい」と今後の活動について話してくれました。

かわいい赤ちゃんに美味しいご飯を

～もぐもぐ食育ひろば～

8月4日(火)、しんた21の調理実習室で『もぐもぐ食育ひろば』（市主催）が行われました。

この催しは、乳児期から食習慣の基礎を整える大切さや手作り離乳食の良さを知ることと、親同士の交流を図ることを目的に開催したもので、4～6カ月の子を持つお母さん7人が参加しました。

この日は、栄養士の指導の下、ほうれん草やトマトなどの野菜やツナ缶を使い、5～6カ月、7～8カ月の月齢に合ったメニューやおかゆを作り、赤ちゃんと一緒に試食しました。

赤ちゃんたちは、お母さんに「おいしいよ」という笑顔に向けてたくさん食べていました。

この催しは、11月10日(火)にも開催を予定しています。

